



NEWS RELEASE

国土交通省 近畿運輸局

問い合わせ先

(所属) 海事振興部船員労政課

(担当) 田中、中原

(電話) 06-6949-6435

令和8年6月24日

内航船員の確保・育成対策 水産系高校にて職業講座を実施しました！

内航海運は、日本経済を支える重要な産業です。これを支える船員は、業界全体として若年層が増加傾向にあるものの高齢化は著しく、将来における担い手不足が生じないように十分な数の船員の確保が必要とされております。

これを受け、国土交通省では、内航船員の確保育成施策を推進しており、近畿運輸局においては、近畿内航船員対策協議会と連携して、若年船員の確保に向けて各種事業を実施しています。

今般、令和8年6月11日（木）に京都府立海洋高等学校において、海運における労働環境などを理解してもらうため職業講座を実施しましたので、お知らせいたします。

実施日及び場所：令和8年6月11日（木）京都府立海洋高等学校

受講生：海洋工学科 航海船舶コース 2年生 14名

講師：近畿内航船員対策協議会 磯合 信之 氏

講義内容：『海運の重要性と船員の仕事について』

配布パンフレット等：

- ・「What is 内航海運？」（日本内航海運組合総連合会）



「C to Sea プロジェクト」

海と船がもっと楽しく身近になる情報発信中！！

海と船のポータルサイト「海ココ」開設 →



配布先：海運関係業界プレス

水産系高校にて職業講座を実施しました

～内航船員の仕事と就労実態を紹介～

近畿運輸局及び近畿内航船員対策協議会（会長：林 一男 田渕海運(株)取締役）では、6月11日（木）に京都府立海洋高等学校（宮津市）において、同協議会の構成員 磯合 信之氏を講師として内航船員に関する職業講座を実施しました。

これは、内航船員の重要な供給ソースと期待されている水産系高校の生徒を対象に、若年内航船員確保推進の観点から、内航海運業・内航船員という職業について理解し、将来の職業選択・進路選択の選択肢の一つとしてもらうことを主な目的として実施しているものです。

当日は、海洋工学科航海船舶コース2年生14名が参加しました。

講義にあたり、まずは内航海運業のイメージをつかんでもらうため、DVD「海を駆ける若者たち」（日本内航海運組合総連合会制作）を視聴してもらいました。

DVD 視聴後、講師から日本は輸入に依存していること、そのうち99.7%の輸送を船が行っていること、外航船が日本に来なくなると、日本で自給できない大豆、コーヒー、小麦、バナナ等の食料が食べられなくなること、内航船による石油類や鉄鋼等の輸送が滞ると国内の基幹産業にも影響が出ることを説明し、船の仕事は、非常に重要な役割を担っており、非常にやりがいがある仕事であることを伝えました。



次に、海技免状の取得の必要性と上級の海技免状取得を目指す向上心、そのために今勉強することの重要性を伝えました。

また、待遇面については給与は陸上職を上回っているため、若くして高収入が得られる一方、その分責任のある仕事を任されていることを伝えました。

講義後の質問では、船上での生活で大切なことは何かと生徒からの質問に「仲間とのコミュニケーション」であることに触れ、特に挨拶をすることが非常に重要であると回答をされ、さらに、学生に今取り組んでほしいこととして、船での仕事は「ONE TEAM」であることが重要。そのためにも学校生活の中でもチームで力を発揮することを大切にしてほしいと伝えました。

近畿運輸局では、今後も近畿内航船員対策協議会と連携して、海運の安心かつ安全な輸送に活躍する船員の確保のため、「海運の重要性」や「船員の仕事」についてのPR活動を積極的に行い、「船員」の仕事が将来の職業の選択肢の一つとなるように、引き続き職業講座を実施していきたいと考えています。

（近畿運輸局 海事振興部 船員労政課）